

	教職員				保護者				生徒										
	回答率100%				回答率98.5%				回答率98.5%										
		よく出来 ている	大体出 来ている	あまり出 来ていな い	出来てい ない		よく出来 ている	大体出 来ている	あまり出 来ていな い	出来てい ない		よく出来 ている	大体出 来ている	あまり出 来ていな い	出来てい ない				
学 習 に つ い て											①	自分の学習目標がわかって、学習にとりくんでいる	51.6%	35.9%	12.5%	0.0%			
	①	児童生徒は、自己目標をもち、課題を意識して学習に取り組んでいる	2.9%	91.4%	5.7%	0.0%	①	子どもは、目標をもち、自分の課題をふまえて学習に取り組んでいる	16.1%	67.7%	14.5%	1.6%	②	共通教科で学習していて「わかった」「できた」とおもうことがある	60.9%	29.7%	7.8%	1.6%	
	②	児童生徒は、満足感や達成感をもって学習に取り組んでいる	8.6%	85.7%	5.7%	0.0%	②	子どもは、満足感や達成感をもって学習に取り組んでいる	13.1%	65.6%	16.4%	4.9%	②	専門教科で学習していて「わかった」「できた」とおもうことがある	76.6%	18.8%	4.7%	0.0%	
	③	児童生徒は、個別の包括支援プラン(キャリアプラン)に沿った「生きる力」を身につけてきている	11.4%	71.4%	17.1%	0.0%	③	子どもは、学校や保護者が必要と考える「生きる力」を身につけてきている	16.4%	55.7%	26.2%	1.6%	③	いろいろな知識や技能が身についてきているとおもう	46.9%	45.3%	7.8%	0.0%	
	④	教員は、個別の包括支援プラン(キャリアプラン)に基づいて計画的な指導を行っている	8.6%	71.4%	20.0%	0.0%	④	子どもの目標や学習計画に基づいて、計画的に指導や支援をしてもらっている	16.4%	70.5%	11.5%	1.6%	④	先生は、何を何のために勉強するかをはっきり教えてくれる	62.5%	32.8%	4.7%	0.0%	
	⑤	教員は学習効果を上げるため、指導法の改善に取り組んでいる	28.6%	60.0%	11.4%	0.0%	⑤	子どもに理解しやすいように、授業や教材に工夫がみられる	18.3%	75.0%	6.7%	0.0%	⑤	先生は、わかりやすく勉強を教えてくれる	64.1%	32.8%	3.1%	0.0%	
	⑥	教員は、児童生徒の努力や達成度について適切に評価し、プランの作成や指導法の改善に生かしている	14.3%	77.1%	8.6%	0.0%	⑥	子どもの努力や達成度について、適切に評価してもらっている	27.9%	63.9%	8.2%	0.0%	⑥	先生は、学習の成果について、伝えてくれる	59.4%	31.3%	6.3%	3.1%	
	⑦	教員は、児童生徒が次の目標を持てるような評価をし児童生徒に伝えている	17.1%	77.1%	5.7%	0.0%	⑦	子どもが次の目標を持てるように評価してもらっている	24.6%	62.3%	11.5%	1.6%	⑦	学習の成果を知って次の目標をたてている	47.6%	34.9%	14.3%	3.2%	
生 活 に つ い て	⑧	児童生徒は、あいさつや言葉遣いなど礼儀正しい学校生活を送っている	31.4%	57.1%	11.4%	0.0%	⑧	子どもは、あいさつや言葉遣いなど礼儀正しい学校生活を送っている	29.5%	59.0%	9.8%	1.6%	⑧	あいさつや、ていねいな言葉づかいができています	54.7%	29.7%	15.6%	0.0%	
	⑨	児童生徒は、学校のきまりや約束を守って学校生活を送っている	14.3%	77.1%	8.6%	0.0%	⑨	子どもは、学校のきまりや約束を守って学校生活を送っている	38.7%	50.0%	11.3%	0.0%	⑨	学校のきまりや約束を守っている	62.5%	28.1%	7.8%	1.6%	
	⑩	児童生徒は、友達に対して思いやりをもち、お互いに協力している	20.0%	68.6%	11.4%	0.0%	⑩	子どもは、友達に対して思いやりをもち、お互いに協力している	29.5%	57.4%	13.1%	0.0%	⑩	友だちへの思いやりをもち、おたがいに協力している	64.1%	26.6%	7.8%	1.6%	
	⑪	児童生徒は、任された役割を持って生活を送っている	37.1%	60.0%	2.9%	0.0%	⑪	子どもは、任された役割を持って生活を送っている	27.9%	65.6%	4.9%	1.6%	⑪	学校や家庭で自分にまかされた役割があり、実行している	51.6%	34.4%	9.4%	4.7%	
	⑫	児童生徒は、健康な生活を送ることを意識し、自分なりの維持管理に取り組んでいる	8.6%	68.6%	20.0%	2.9%	⑫	子どもは、健康な生活を願い、自分なりの維持管理に取り組んでいる	14.8%	63.9%	19.7%	1.6%	⑫	病気や健康に気をつけながら、学校へかよっている	62.5%	23.4%	7.8%	6.3%	
	⑬	全教職員が学校いじめの防止等基本方針の内容を理解し、組織的対応に努めている	37.1%	57.1%	5.7%	0.0%													
	⑭	児童生徒・保護者の訴え(アンケート結果含む)や相談内容を共有している	28.6%	54.3%	14.3%	2.9%													
将 来 に 向 け て	⑮	キャリアカウンセリングやケース会議により、進路方針の周知と共有ができています	20.0%	60.0%	17.1%	2.9%	⑬	キャリアカウンセリングやケース会議により、進路方針の共有ができています	21.7%	66.7%	8.3%	3.3%	⑬	卒業後の進路や生活について、先生や保護者と相談できている	34.4%	43.8%	14.1%	7.8%	
	⑯	キャリア教育の観点に立った、児童生徒の実態と進路に応じた進路学習や、校外実習の機会が用意できています	31.4%	54.3%	14.3%	0.0%	⑭	子どもの実態と進路に応じた、進路学習や校外実習の機会が用意できています	20.0%	63.3%	16.7%	0.0%	⑭	卒業後の進路にむけた学習や実習にとりくむことができています	66.7%	22.2%	9.5%	1.6%	
	⑰	キャリア教育の観点に立った、児童生徒の実態と進路に応じた関係機関との連携ができています	35.3%	61.8%	2.9%	0.0%	⑮	子どもの実態と進路に応じた、関係機関との連携ができています	16.7%	63.3%	20.0%	0.0%	⑮	卒業後の進路や生活について、いろいろな人から、アドバイスを聞くことがある	51.6%	29.7%	15.6%	3.1%	
	⑱	企業との連携・協働による学習(実習)環境の設定ができています	31.4%	62.9%	5.7%	0.0%	⑯	企業との連携・協働による学習(実習)環境の設定ができています	21.7%	71.7%	6.7%	0.0%	⑯	企業の協力があり、職場実習などができていることに感謝している	71.9%	23.4%	3.1%	1.6%	
	⑲	地域との連携・協働による学習(実習)環境の設定ができています	25.7%	62.9%	11.4%	0.0%	⑰	地域との連携・協働による学習(実習)環境の設定ができています	10.0%	76.7%	13.3%	0.0%	⑰	地域の協力があり、校外演習などができていることに感謝している	59.4%	28.1%	12.5%	0.0%	
	⑳	児童生徒が自己理解を深められるような取組をしている	20.0%	57.1%	22.9%	0.0%	⑱	子どもは自分の長所に気付いている	8.3%	71.7%	20.0%	0.0%	⑱	自分の長所をよくわかっている	51.6%	31.3%	12.5%	4.7%	
	㉑	教員は、児童生徒の自己肯定感を高めることを意識して指導に当たっています	20.0%	71.4%	8.6%	0.0%	⑲	子どもの自己肯定感が高まってきている	10.0%	61.7%	28.3%	0.0%	⑲	自分は大切な存在だ、誰かに必要とされていると感じている	50.0%	29.7%	15.6%	4.7%	
教 育 環 境 に つ い て	㉒	日常的に教室の清掃、美化に取り組んでいる	29.4%	38.2%	29.4%	2.9%	㉒	校内や教室は清掃され美しい状態である	55.0%	38.3%	5.0%	1.7%	自己肯定感につながる項目は水色で表示 いじめの防止等についての項目は緑色で表示 ・前期に比べて5ポイント以上高くなっているところはピンクで表示 ・前期に比べて5ポイント以上低くなったマイナス評価については、黄色で示している						
	㉓	児童生徒の感染症予防を意識して、保健、衛生管理に留意している	25.7%	65.7%	8.6%	0.0%	㉑	校内や教室は、衛生的で清潔な状態である	51.7%	45.0%	3.3%	0.0%							
	㉔	校教具は機能的に使えるよう、整理整頓に努めている	22.9%	65.7%	11.4%	0.0%	㉒	学習に使う教材や備品は、整理整頓されている	45.0%	48.3%	6.7%	0.0%							
	㉕	校地内の緑化、廃棄物の削減など、環境に配慮した取組が実践できている	25.7%	71.4%	2.9%	0.0%	㉓	校地は緑化され、環境に配慮した様子がうかがえる	42.4%	49.2%	8.5%	0.0%							
キ ャ リ ア と プ ラ ン の 連 携 ・ 保 護 者	㉖	包括支援プラン(キャリアプラン)をもとに、短期目標や評価を保護者に適切に伝えている	28.6%	65.7%	5.7%	0.0%	㉔	短期目標や評価について、学校は保護者に適切に伝えている	38.3%	56.7%	3.3%	1.7%							
	㉗	週予定等により、学習内容や行事計画を保護者に適切に伝えている	45.7%	48.6%	5.7%	0.0%	㉕	学習内容や行動計画について、学校は保護者に適切に伝えている	34.4%	63.9%	1.6%	0.0%							
	㉘	保護者からの個別相談に、適切に対応している	37.1%	60.0%	2.9%	0.0%	㉖	個別の相談について、学校は保護者に適切に対応している	26.7%	70.0%	1.7%	1.7%							
	㉙	保護者は、本校の教育の趣旨、目的を理解している	5.7%	74.3%	20.0%	0.0%	㉗	保護者として、本校の教育の趣旨、目的を理解している	23.3%	65.0%	10.0%	1.7%							
	㉚	保護者は、参観・懇談・学習会などに積極的に参加している	2.9%	34.3%	60.0%	2.9%	㉘	保護者として、参観・懇談・学習会などに積極的に参加している	20.0%	53.3%	18.3%	8.3%							
学 部 間 の 連 携	㉛	行事計画、特別活動等、学部間の連携は適切にできている	22.9%	74.3%	2.9%	0.0%	自己肯定感につながる項目として挙げたものを中心に 学習について ・②の2項目は「そう思う」「大体そう思う」と答えた生徒が、それぞれ90. 6%、95. 4%(前期はは90. 7%、93. 9%)となっている。学習面では、特に専門教科において多くの生徒が「わかった」「できた」経験を積み重ねていると考えられる。③でも、92. 2%(95. 4%)とプラスに評価している生徒の割合が高い。「わかった」「できた」という経験を積み重ねて、学習したことが身についてきていると感じている生徒の割合が高いことがわかる。学習面では生徒が自信をつけてきていると捉えられる。 ・同じ項目で保護者のアンケート結果を見ると、②で78. 7%(83. 0%)とプラス評価のポイントが少し下がり、③では26. 2%(26. 7%)の保護者が「あまりできていない」と答えており、生徒本人の回答と少し隔たりがある。 子どもたちが、学習においては満足感や達成感をもっているが、「生きる力」が身につくところまでには至っていないと感じている保護者もいることがわかる。 生活について ・⑪では、プラス評価している生徒は86.0%(83. 1%)となっている。お手伝いではなく任されているという実感を持っている生徒が多い。 ・教職員では97. 1%(94. 4%)保護者は93. 5%(87. 0%)がこの項目について、プラスの評価をしており、ポイントの伸びがみられる。そこから、学校、家庭において生徒が役割を持って生活していることがいえる。 将来に向けて ・⑭では、プラスに評価している生徒が88. 9%(90. 8%)となっている。「学習について」「生活について」の各項目と同様に、プラスに評価している生徒の割合が高くなっている。⑯でも、プラス評価をした生徒の割合が82. 9%(80. 0%)と高い割合を示している。「学習について」「生活について」であげた項目と「将来に向けて」の項目がすべて80%以上になっていることから、学習で「わかった」「できた」と思い、「いろいろな知識や技能が身についてきているとおもう」ことが、自分の長所として意識されてきているのかもしれない。一方、自己肯定感に直結する項目として、⑲「誰かに必要とされている存在」でプラスに評価している生徒が79. 7%(75. 4%)」と少しポイントが上がった。 ・教職員の⑳、㉑の項目は、77. 1%、91. 4%(76. 5%、88. 5%)のプラス評価をしている。保護者の⑳も80. 0%(74. 6%)となり、子どもの82. 9%にポイントが近づいてきた。また、保護者の⑲では、プラス評価をしている保護者の割合が71. 7%(66. 0%)とやや低いが、少しずつポイントが上がってきている。今後も、子どもの変化を肯定的に捉えその成長を本人、保護者とともに共有することが必要である。 いじめの防止等についての項目として挙げたものを中心に ・教職員の⑬、⑭の項目はどちらも高い値でプラス評価になっている。特に⑬は94. 2%(97. 2%)と高く、基本方針を理解し組織的対応に努めていることがわかる。また、⑭の項目については、82. 9%(82. 4%)がプラス評価で、アンケート結果やその結果に基づく指導内容について、いじめ防止対策委員会や職員会議において情報共有をしているので高い評価になっていると考えられる。一方、「あまりできていない」「できていない」と答えた教職員が17. 2%(17. 6%)もいることを見逃してはならない。日常の学校生活においてもきめ細かい指導とタイムリーな情報共有をしていく必要がある。 ・生徒の⑧～⑩の項目はどれも高い評価で、特に⑨、⑩は前期は80%代だったが、90%を超える生徒が高く評価しており、「学校の決まりや約束を守って友だちへの思いやりをもち、おたがいに協力している」という姿が見てとれる。												
	㉜	学部間の共同の取組において、児童生徒は意欲的に活動している	60.0%	40.0%	0.0%	0.0%													
	㉝	地域校との交流、共同学習において、児童生徒は意欲的に活動している	14.3%	57.1%	28.6%	0.0%													
連 携 部 と 自 己 研 鑽	㉞	市民、他校種、関係機関等からの相談に誠意をもって応えている	31.4%	60.0%	5.7%	2.9%													
	㉟	知的発達、病弱教育、キャリア教育等に関する自己研鑽を積んでいる	20.0%	62.9%	14.3%	2.9%													
校 務 に つ い て	㊱	校務分掌組織に基づいて、自らの職務分担を適切に果たしている	25.7%	65.7%	8.6%	0.0%													
	㊲	会議の精選と業務の効率化に取り組んでいる	17.1%	57.1%	22.9%	2.9%													
	㊳	学校教育目標の達成に向けて、適切な予算編成と執行に取り組んでいる	34.3%	62.9%	2.9%	0.0%													
	㊴	各種文書、個人情報等の適切な管理と手続きに取り組んでいる	37.1%	60.0%	2.9%	0.0%													
	㊵	報告、連絡、相談を常に意識し、情報の共有に努めている	34.3%	57.1%	5.7%	2.9%													